

リカレント教育推進フォーラム in 呉

開催趣旨

地域におけるリカレント教育を推進する産学民官金の連携組織として発足した「しまなみ未来社会人材育成プラットフォーム」では、地域のハブ人材をどう育てていくかのヒントを探るため、現場の一線で活躍する人材を講師としてお招きして情報提供を頂くとともに、次年度以降の地域人材の育成のあり方について話し合うフォーラムを開催します。ぜひご参加ください。

開催情報

●対象者

- ・地域創生イノベーター育成プログラムの受講者
- ・広島県・愛媛県内の地方自治体・経済団体・企業・NPO等に所属し、地域イノベーションやリカレント教育に関心のある皆様
- ・広島大学・愛媛大学の教職員・大学院生・学生
- ・しまなみ未来社会人材育成プラットフォーム会員の皆様
- ・海洋文化都市くれ推進協議会会員の皆様

●定員（一般参加者を含む）

40名（プラットフォーム参加者・随行者含む）

●日程及び会場

令和8年2月16日(月) 13:00～16:30

呉阪急ホテル 4階 皇城の間
(広島県呉市中央1丁目1-1)

キーノートスピーチ (13:35-15:05)



『学び直しが切り拓く、地域企業の次世代経営
— アトツギ・ベンチャーの挑戦』
(有)ピゴレー・カタオカ

片岡有紀氏



『地域共創型リカレント教育の実践と展望』
金沢大学 学長補佐(地域共創担当)
先端科学・社会共創推進機構 教授

篠田隆行氏

トークセッション (15:15-16:30)



しまなみ未来社会人材育成プラットフォーム
(えひめ暮らしネットワーク代表理事)

会 長 **板垣義男**



広島大学
学術・社会連携室 参事(地域連携)

榎原晃二



アンカー

愛媛大学 理事・副学長
地域協働推進機構長

杉森正敏

※セッションにはキーノートスピーチの講師も参加します。

フォーラム日程

13:00-13:15 「地域創生イノベーター育成プログラム(東予)」修了式

今年度に本プラットフォームのパイロットプログラムの位置づけとして開講した「地域創生イノベーター育成プログラム(東予)」の修了者代表へ、履修証明書を授与します。

13:30-13:35 開 会

13:35-15:05 キーノートスピーチ (45分×2講演)

片岡有紀氏((有)ピゴレー・カタオカ)及び篠田隆行氏(金沢大学)から、社会人人材育成及び地域共創型リカレント教育に関する情報提供を頂きます。

15:15-16:30 トークセッション

キーノートスピーチ登壇者の片岡氏及び篠田氏に、しまなみ未来社会人材育成プラットフォーム会長及び大学関係者を交えて、今後の地域人材育成、とりわけその鍵となる「地域ハブ人材」の創出に向けて話し合っていきます。

16:30 開 会

申込先 (2月9日(月)までに下記のフォームURL又は二次元コードからお申込ください。)

しまなみ未来社会人材育成プラットフォーム事務局 (愛媛大学地域協働支援部地域協働課内)
申込フォーム <https://forms.office.com/r/HxMv8TQNxk>
電話: 089-927-8512 E-mail: rikasien@stu.ehime-u.ac.jp



講師略歴

片岡 有紀（かたおか ゆうき）氏 （有限会社 ビゴーレ・カタオカ）



1995年、京都市生まれ。大学卒業後、産業用ロボットメーカーで海外営業を2年、国内技術営業を2年経験。その後、家業である京都の自転車ブランド「**VIGORE(ビゴーレ)**」を継ぐために帰郷し、企画・広報を担当しながらビジネスを学ぶべく、大学院のビジネス研究科を修了。同期や社内に対話を重ねた上で最終的に自転車づくりの担い手であるフレームビルダーとして事業を継ぐことを決心。現在は、**四代目フレームビルダー見習い**として伝統ある自転車づくりに携わりつつ、ブランドの新たな価値やアイデアを模索している。VIGOREでは、乗り手個々の体格やスタイルに合わせたハンドメイド自転車づくりを実践し、デザインと技術を**継承・進化**させている。近年は、自身が関わるプロダクト開発にも携わるなど、**京都のクラフトマンシップの新たな世代**として注目されている。

篠田 隆行（しのだ たかゆき）氏 （金沢大学 学長補佐(地域共創担当)、先端科学・社会共創推進機構 教授)



都市銀行、國學院大學、富山短期大学を経て現職。
専門分野は、地域経営、ソーシャルイノベーション、高等教育論。
金沢大学着任後は、「**能登里山里海SDGsマイスタープログラム**」の運営を中心に、地域と大学が協働する人材育成・実践型教育を推進している。
同プログラムでは、**生物多様性、関係人口の創出、令和6年能登半島地震からの創造的復興**など、地域ニーズに応じたテーマを設定しながら、継続的に実施。「**能登の里山里海**」を起点に、志を持って集った多様な人々が相互に学び合い、
①**地域課題を客観的に分析し、**
②**新たな視点から価値を創造し、**
③**試行・実践を通じて具体的なプランへとつなげる**
ことを重視した人材育成と地域共創に取り組んでいる。